

平成 22 年度 河川レンジャー年間活動計画(案)

平成 22 年 2 月

福島管内河川レンジャー	菊井	睦夫
	辻川	松子
	池宮	實
毛馬管内河川レンジャー	原田	修一
	三輪	栄子
	山本	善稔
	崎谷	久義

目 次

1. 福島出張所管内河川レンジャー	菊井 睦夫	1
2. 福島出張所管内河川レンジャー	辻川 松子	9
3. 福島出張所管内河川レンジャー	池宮 實	26
4. 毛馬出張所管内河川レンジャー	原田 修一	33
5. 毛馬出張所管内河川レンジャー	三輪 栄子	48
6. 毛馬出張所管内河川レンジャー	山本 善稔	61
7. 毛馬出張所管内河川レンジャー	崎谷 久義	65

1. 福島出張所管内河川レンジャー 菊井 睦夫

1.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする菊井レンジャーは以下の活動テーマのもと、4つの活動を実施します。

活動テーマ

1. 干潟、葦原の自然観察と教育的活用。
2. 淀川図書館などでの展示会や講演会
3. 次世代の河川の自然ガイドの養成。

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	河川レンジャー自然観察会 (河川の自然ガイドの養成)
	河川近隣の小学校へ出張授業 (干潟観察 教室での講座)
川づくり・人づくりへの参画・支援する活動	淀川図書館などでの展示会や講演会
	河川敷での自然観察会および自然をテーマにした物語の読み聞かせ「子ツバメ チュクジ」など

1.2 河川レンジャー自然観察会(河川環境ガイド養成講座)

(1)活動目的

淀川下流域の大都会の中の自然の宝庫の素晴らしさをより多くの人々に啓蒙してゆきたい。

さらに、海老江再生干潟や、宇治川・向島のツバメのねぐらなどもっと知って欲しい場所へ参加者を案内したいと考えています。

野鳥の会大阪支部、シニア自然大学その他野鳥観察グループとの交流なども検討中です。

学校関係は、要請があった時に対応していましたが、産経新聞の記事を活用したりして参加校を募集してまいります。子供野鳥カルタ、子ツバメチュクジ物語、淀川下流域 160 種の野鳥など自作の CD を教材とした室内での授業も好評でしたので継続します。

参加者の中から有志を募り、川のことや生き物のことを探求し、淀川下流域における生き物や野鳥のことを解説できる自然ガイドの養成も考えています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	5 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	6 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	7 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	8 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	上旬に向島地区のツバ メのねぐら観察会
	9 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	10 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	11 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	12 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
平成 23 年	1 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	2 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	3 月	仮称 河川レンジャー自然観察会	

(2)参加対象者・定員

小学生は親子で参加が条件で 30 名以内が望ましい。

(3)実施内容

A M 9:30 阪神・淀川駅改札で集合

- ・海老江再生干潟を観察
- ・中津浜を經由して十三大橋を渡り、十三干潟を観察

小雨決行ですが状況により翌週に順延

(4)実施日

毎月第 2 日曜日 AM9:30-PM1:00

宇治川・向島地区のツバメのねぐら観察 8 月上旬 PM5:00-PM7:30

(5)実施場所

- ・海老江再生干潟
- ・大淀地区の汀(なぎさ)
- ・十三干潟



(6)広報・募集方法

昨年度に引き続き「ザ・淀川」に協力をいただく予定。
淀川区役所とも連携を図り参加者をより増やしたい。
リバーマスタークラブ会員にも参加を促したい。

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

淀川ネイチャークラブや菊井の知人などから人選する。
2～3人

(8)必要支援内容

福島出張所にデータを送付して、リーフレットやアンケート用紙を作成していただけるのはありがたい。

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師・協力スタッフの手配、打合せ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・当日の運営
- ・資料リーフレットおよびアンケートの配布と回収
- ・アンケート結果のまとめ
- ・リーフレットおよび観察記録の整理、発表。
- ・淀川下流域での野鳥、動植物の観察記録をまとめて期末に発表できればよいと考えています。

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

回を重ねるごとに参加者の数が減少してきたことの反省から、子供も参加してより楽しい観察会にしてゆこうと考えています。
次世代の河川環境ガイドを養成できる下地になればより良いと考えています。

(11)活動を行ううえでの課題等

努力しているのですが参加者があと少しは増えて欲しい

(12)その他

予備調査や前年度までのデータを分析し、動植物の実態調査をより充実させたく考えています。昆虫や植物の専門家、魚介類の専門家の方たちにも参加を促したい。

1.3 近隣小学校への出張授業

(1)活動目的

5年生対象 地元の自然を学ぶ。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月	活動実施	
平成 23 年	1月		
	2月		
	3月		

(2)参加対象者・定員

5年生 85名と教員4名

(3)実施内容

1. 教室ではパソコンプロジェクターを使って野鳥カルタの斉唱、子ツバメチュクジの朗読

2. 野外は十三干潟付近の河川敷での自然観察。

(4)実施日

平成 22 年 12 月に予定

(5)実施場所

出張先小学校の多目的室
淀川河川敷 十三干潟付近

(6)広報・募集方法

学校との打ち合わせにより決定する

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

不要

(8)必要支援内容

河川敷での授業でフィールドスコープの貸し出し

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

野鳥カルタや子ツバメチュクジの読み聞かせ
淀川下流域の野鳥の紹介など

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

1. ツバメのお話、野鳥のお話をより分かりやすく解説したい。
2. 自然保護の大切さを解説。

(11)活動を行ううえでの課題等

学校とのコミュニケーションを頻繁にしています。

(12)その他

特になし

1.4 地域への啓発活動

(1)活動目的

自然の大切さを地域へ広く伝えたい。

(2)実行できる活動

淀川図書館などでの展示会、講演会

昨年 12 月 18 日から 2 月 17 日まで野鳥カルタと淀川の野鳥 162 種を展示中。1 月 30 日には講演会を開催。淀川図書館から次回にもと開催を要請されています。

2. 福島出張所管内河川レンジャー 辻川 松子

2.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする辻川レンジャーは以下の活動テーマのもと、7つの活動を実施します。

活動テーマ

豊かな自然環境を守り 災害に強いまちを目指し 川と人 人と人を繋げます!!

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
防災に強いまちづくりの推進を図る活動	わがまち「防災スクール」
防災と環境保全の推進を図る活動	第9回よどがわ河川敷フェスティバル =川に寄り添い生きる淀川区を目指して=
河川の適正な利用の推進	リバーウォッチャー「淀川探検隊」
河川の環境保全を図る活動	その他の活動 =ヨシ刈り= =地域連携事業= =NPOとの協働事業=
啓発活動	河川レンジャー活動に関するニュース等の情報発信

2.2 わがまち「防災スクール」

(1)活動目的

淀川区内の中学校を対象として 水防工法の体験学習や災害に対する危機意識の啓発と、水防活動に最低限必要な水防工法の知識や技術等の習得に繋がります。

次の時代を担う「防災リーダー」の育成を目的として、キャリア教育に繋がります。

更に、自らのまち「わがまち」の防災を考えるきっかけづくりと、「地域防災リーダー」との世代間交流を図る活動に繋がります。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施事業計画及び事業の提案 学校訪問及び啓発
	5 月		実施事業計画と事業の提案 啓発活動 資料づくり
	6 月		事業内容の調整
	7 月		事業計画 啓発活動
	8 月		事業内容の調整
	9 月		事業内容の調整
	10 月		事業内容の調整・広報活動
	11 月	わがまち「防災スクール」P・1	事業内容の調整・講師の依頼
	12 月	わがまち「防災スクール」P・2	事業内容の調整
平成 23 年	1 月	わがまち「防災スクール」P・3	事業内容の調整
	2 月	わがまち「防災スクール」P・1	事業内容の調整・講師の依頼
	3 月	わがまち「防災スクール」P・2	事業内容の調整

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者：淀川区内中学生
- ・定員：設定なし

(3)実施内容

- ・映像からみる災害のメカニズムについて。
- ・災害時における「自助・協助・公助」について。
- ・「水防工法」「救難・救助」の体験学習を図ります。
- ・環境保全につながる学習を進めます。

(4)実施日

A 中学校

- | | | |
|-----|-----|-------|
| 第1回 | 11月 | メカニズム |
| 第2回 | 12月 | 体験学習 |
| 第3回 | 1月 | 図上訓練 |

B 中学校

- | | | |
|-----|----|-------|
| 第1回 | 2月 | メカニズム |
| 第2回 | 3月 | 体験学習 |

(5)実施場所

参加中学校及び淀川河川敷

(6)広報・募集方法

学校訪問を行う

(7)協力スタッフ等の人数と役割

協力スタッフ 防災リーダー・はぐくみネット・わがまち委員等の地域ボランティア

講師：防災に関する技術指導と災害に係わる講演

(8)必要支援内容

水防工法に係わる材料・機材・設営に係わる物品の借用
講師の依頼

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施校の決定
- ・実施計画の立案
- ・講師の依頼・協力スタッフの手配・打ち合わせ
- ・関係機関との調整
- ・資料の作成・パワーポイントの作成・アンケートの作成
- ・広報活動
- ・現地調査と当日の運営
- ・アンケートの集約・まとめ

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

平成 20 年度では、3 回の実施になり学習内容に幅が出来ました
しかし、2 回目実施予定を致しておりました実体験が、天候不備のため 已
むを得なく学校での講義となりました。

生徒のアンケートの中にありますように「河川敷に行きたかった」と
いう声が多くあり自然に触れたいという気持ちが伝わってきました。

主催者であるレンジャーが「実施する勇気」「やめる勇気」をどのよう
にもつかが悩むところですが、22 年度においてはさらにプログラムを見
直し充実した事業を進めていきたいと考えています。

(11)活動を行ううえでの課題など

当、河川レンジャーの研鑽をつむことのみです。

2.3 リバーウォッチャー「淀川探検隊」

(1)活動目的

「自分の住むまちの自然にふれて・見て・知る」

淀川区内の小学校を対象に河川敷を活動フィールドとして「ゴミを捨てない・川を汚さない」を基本において 自然環境や河川利用に係わる啓発をおこないます。

活動を通じて自分が住むまちに豊かな自然が身近にあることを伝え、自然の素晴らしさと

それらを守る心を育み こどもたちが郷土を愛せる人に育つことを目的とします。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施事業計画及び事業の提案 学校訪問及び啓発
	5 月		実施事業計画と事業の提案 啓発活動 資料づくり
	6 月		事業内容の調整
	7 月		事業計画 啓発活動
	8 月		事業内容の調整
	9 月		事業内容の調整
	10 月		事業内容の調整
	11 月		事業内容の調整
	12 月		事業内容の調整
平成 23 年	1 月		事業内容の調整
	2 月	リバーウォッチャー 「淀川探検隊」	事業内容の調整
	3 月		実施事業のまとめ

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者：淀川区内小学生4年生
- ・定員：設定なし

(3)実施内容

- 淀川の自然環境保全を伝えます。
- 淀川に生息する生物や淀川の様子を観察します。
- 水質について考えます。

(4)実施日

2月

(5)実施場所

淀川河川敷・学校(雨の場合)

(6)広報・募集方法

学校訪問

(7)協力スタッフ

協力スタッフ：児童生徒の安全確保(行路・帰路の引率)
はぐくみネット「こども見守り隊」など地域の方々

(8)必要支援内容

水質調査に係わる試薬の提供
資料の提供

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施校の決定
- ・実施計画
- ・関係機関と調整
- ・講師・協力スタッフの手配
- ・資料の作成
- ・雨の場合の準備(パワーポイントの作成)
- ・広報活動
- ・実施場所の確認 学校から実施場所までの時間の確認
- ・当日の運営
- ・アンケートの作成と回収・まとめ・報告

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

事業がマンネリ化しないように工夫を凝らすことが大事と考えます。

(11)活動を行ううえでの課題など

実施時期が冬季であるために、子どもの体調が気になります。
学校と調整するものの難しく大きな課題であると考えています。

2.4 よどがわ河川敷フェスティバル

(1)活動目的

淀川フォーラム実行委員会主催の第8回よどがわ河川敷フェスティバルで河川レンジャーコーナーを設け活動の啓発に務めます。

平成22年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月		実施事業計画及び事業の提案
	5月		実施事業計画と事業の提案
	6月		事業内容の調整
	7月		事業計画 啓発活動
	8月		事業内容の調整
	9月		事業内容の調整
	10月	第9回よどがわ 河川敷フェスティバル	事業内容の調整
	11月		事業のまとめ
	12月		
平成 23 年	1月		
	2月		
	3月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者：河川に集まる全ての人
- ・定員：設定なし

(3)実施内容

- ・防災の啓発...水中歩行・水没ドアの体験
- ・ヨシ工作（西中島ヨシ原より刈り取りしたもの）
- ・シジミ工作(十三干潟より採取)
- ・自然環境に係わる紙芝居の上演

(4)実施日

10月第3日曜日(未定)

(5)実施場所

淀川河川敷

(6)広報・募集方法

区民だより等の広報紙及び地域情報誌

(7)協カスタッフ

わがまちビジョン推進委員・生涯学習推進委員など約15名

(8)必要支援内容

施設設置に係わる物品・機材・人員の確保

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画と他事業との調整
- ・施設設置の立会(前日)
- ・広報活動
- ・スタッフの手配と事前指導
- ・当日の運営
- ・アンケートの作成・回収・集約・まとめ・報告

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ヨシ工作(タペストリー) しじみ工作(根図け)については思いのほか好評でありました。引き続き次年度に引き継ぎたいと思っています。
- ・「水没ドア・水中歩行」体験についてはアンケートの回収率が高く体験者も多くあったことから昨年同様にスタッフの事前学習を充実させていきたいと考えます。

(11) 活動を行ううえでの課題等

3年連続で事業実施を振り返ったとき、忘れがちな水害を体験出来る場として大変必要な施設であると実感し 今後も続けていきたいと考えております。

2.5 ヨシ刈り

(1)活動目的

淀川区におけるわがまち推進会議や NPO 活動団体と協働・連携を図り巾の拾い活動の推進に務めます。

自然環境保護の目的を達成する為に水質を悪くする物質所栄養分として吸収し、水の浄化作用の役目を果たすヨシを 2 月に刈ることで春 5 月には新しい新芽が生まれ成育の循環が行われ水質の向上につながります。さらに、ヨシを使いよどがわ河川敷フェスティバルにおいて、もの作り等に利用して自然環境の保護を伝えます。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施事業計画及び事業の提案
	5 月		実施事業計画と事業の提案
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		事業内容の調整
	11 月		事業内容の調整
	12 月		事業内容の調整
平成 23 年	1 月		事業内容の調整
	2 月	ヨシ刈り	事業内容の調整
	3 月		事業のまとめ

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者：環境保全に関心のある人
- ・定員：設定なし

(3)実施内容

西中島地域ヨシ原をフィールドとして刈り取りを行い、環境保全の推進に努めます。

(4)実施日

2月 第4日曜日(未定)

(5)実施場所

西中島地区ヨシ原



(6)広報・募集方法

啓発チラシ及び地域情報誌など

(7)協ラストッフ

未来わがまちビジョン推進委員会など

(8) 必要支援内容

活動場所の認可手続き

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 関係機関と調整
- ・ 広報活動
- ・ 機材の借用(連絡調整及び日程の調整)
- ・ 当日の運営
- ・ 雨天のための対策(連絡方法)

(10) 昨年度の活動をふまえての改善点

- ・ 必要以上に採取しないこと
- ・ ヨシ刈りの意義をしっかりと伝えていくこと

(11) 活動を行ううえでの課題等

特にありません

2.6 地域連携事業

(1)活動目的

区役所が実施する学習会と協働。

川と人 人と人を繋げる自然環境・防災＆災害に関わる事業運営のサポーターを務める。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施事業計画及び事業の提案 学校訪問及び啓発
	5 月		実施事業計画と事業の提案 啓発活動 資料づくり
	6 月		事業内容の調整
	7 月	地域連携事業	事業計画 啓発活動
	8 月	地域連携事業	事業内容の調整
	9 月	地域連携事業(雨天時の予備日)	事業内容の調整
	10 月		事業内容の調整・広報活動
	11 月		事業内容の調整・講師の依頼
	12 月		事業内容の調整
平成 23 年	1 月		事業内容の調整
	2 月	地域連携事業	事業内容の調整・講師の依頼
	3 月		事業内容の調整

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者：淀川区民
- ・定員：概ね 40 名

(3)実施内容

淀川の自然を体感する学習会

(4)実施日

8 月及び 9 月

(5)実施場所

淀川河川敷及び淀川区役所



(6)広報・募集方法

淀川区広報紙・チラシ・地域機関紙

(7)協ラストッフ

リバーマスター倶楽部会員・生涯学習推進員など

(8)必要支援内容

資料提供

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

主催者との企画調整

開催にあたっての挨拶

当日の運営に係わるサポーター

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年と同様に協働事業として推進していきたいと考えております。

(11)活動を行ううえでの課題等

特にありません

2.7 啓発活動

(1)活動目的

川と人 人と人をつなぐコーディネーターとして 河川レンジャーの活動案内や

結果報告をはじめとした情報を継続的に発信し、地域住民から意見や情報を聴取する。

- ・ 地域情報紙への事業内容等の情報提供
- ・ 市民に対し事業実施及び事業推進の情報の提供。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	啓発活動	
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

3. 福島出張所管内河川レンジャー 池宮 實

3.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする池宮 實レンジャーは以下の活動テーマのもと、2つの活動を実施します。

活動テーマ

淀川の自然を地域住民に伝え、河川環境の改善を通して、治水、利水、環境、防災を共に学び、親しみのある川づくりを協働して進めます。

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の適正な利用の推進を図る活動	「十三干潟周辺の自然環境の学習」
日常的な河川管理活動 河川管理についての理解・啓発	「淀川を生かす現在・過去の施設」見学

3.2 十三干潟周辺の自然環境の学習

(1)活動目的

自然環境の保護と安全で楽しい河川利用の啓発の目的を持って、小学校高学年(3～4年生)の子供たちと地域の人達を対象に十三干潟での自然観察会を行います。

干潟での遊びを通して淀川の環境維持、干潟の持つ生物多様性と誰もが近付ける干潟の育成を学び、安全で楽しく遊べる淀川を体験してもらい、自然できれいな淀川の水辺環境が流域に与える恵みの大きさを参加者に伝え、子供や地域の人たちが河川へかかわる機会の増加へつなげます。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画の立案 河川管理者への協力依頼 広報準備 団体・小学校との折衝開始 協力スタッフ選抜
	5 月		資料作成 広報活動 実施場所下見(距離・時間計測) 協力スタッフ・団体との調整 参加者数確認
	6 月	実施(当日雨天の場合 9 月実施)	
	7 月		総括
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

参加対象者:大阪市立十三小学校生徒(3~4年生)

:淀川区地域住民

参加定員 :40人程度~

(3)実施内容

- ・十三干潟環境の全体像を観察
- ・干潟での遊び学び、生物の観察・採集も行う

(4)実施日

6月中旬の平日を予定 午前中 10時~12時

(5) 実施場所

淀川右岸十三干潟・ヨシ原水路付近



(6) 広報・募集方法

学校訪問・協力依頼
地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ: 小学校 P T A 5 名 (参加者の見守り)
: 十三福寿会 5 名 (")
: 淀川水遊館 2 名 (")
記録 : 1 名

(8) 事前に必要な手配及び支援依頼内容

- ・ 河川レンジャー及びセンター事務局
干潟生物の説明のできる資料の作成
水辺観察に必要な小物機材
(たも網・バケツ・観察槽等の水辺観察用機材・ハンドマイク)
救急箱
- ・ 国土交通省
説明配布資料作成後の印刷
アンケート用紙作成後の印刷
河川レンジャーのぼり

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案
関係団体との折衝
協力スタッフの手配・打ち合わせ
広報活動
事業運営
アンケートのまとめ

3.3 毛馬・福島出張所管内・管理施設の見学

(十三(南方)～長柄～毛馬 ウォーキング)

(1)活動目的

近畿地方は古代より琵琶湖および母なる大河・淀川の水の恵みを受けて生活を営んできました。その淀川も数々の大きな氾濫により流域に生活する人々に大きな災害を与えてきました。

新淀川誕生 100 年、現在の淀川を治水・利水の両面でコントロールする毛馬地区の重要な施設を地域の住民に知ってもらい、併せて文化遺産である過去の施設跡を見学することにより河川の維持管理の様子と淀川の水利用の在り方を勉強し環境に優しい河川の利用法を啓蒙し、淀川を流域住民が安らぎの場として利用できる橋渡しをする活動につなげたい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画の立案 福島・毛馬出張所への協力依頼 広報準備 関係団体との折衝開始
	5 月		資料作成準備 広報活動開始 コース下見(距離・時間計測)
	6 月		協力者選抜 広報活動
	7 月		広報活動・内容調整
	8 月		” ”
	9 月		参加者数確認
	10 月		福島・毛馬出張所・協力スタッフ・団体との最終調整
	11 月	実施	
	12 月		参加者アンケート集計 総括
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

参加対象者:淀川区内

参加定員 :20人程度

(3)実施内容

- ・コース(徒歩):十三・南方・長柄橋・淀川大堰・毛馬出張所施設
(復路は往路と逆コース・詳細は打ち合わせ)
- ・淀川大堰徒歩通過(概要・役割の勉強)
- ・毛馬出張所管内施設見学
- ・大阪府施設見学(排水機場)

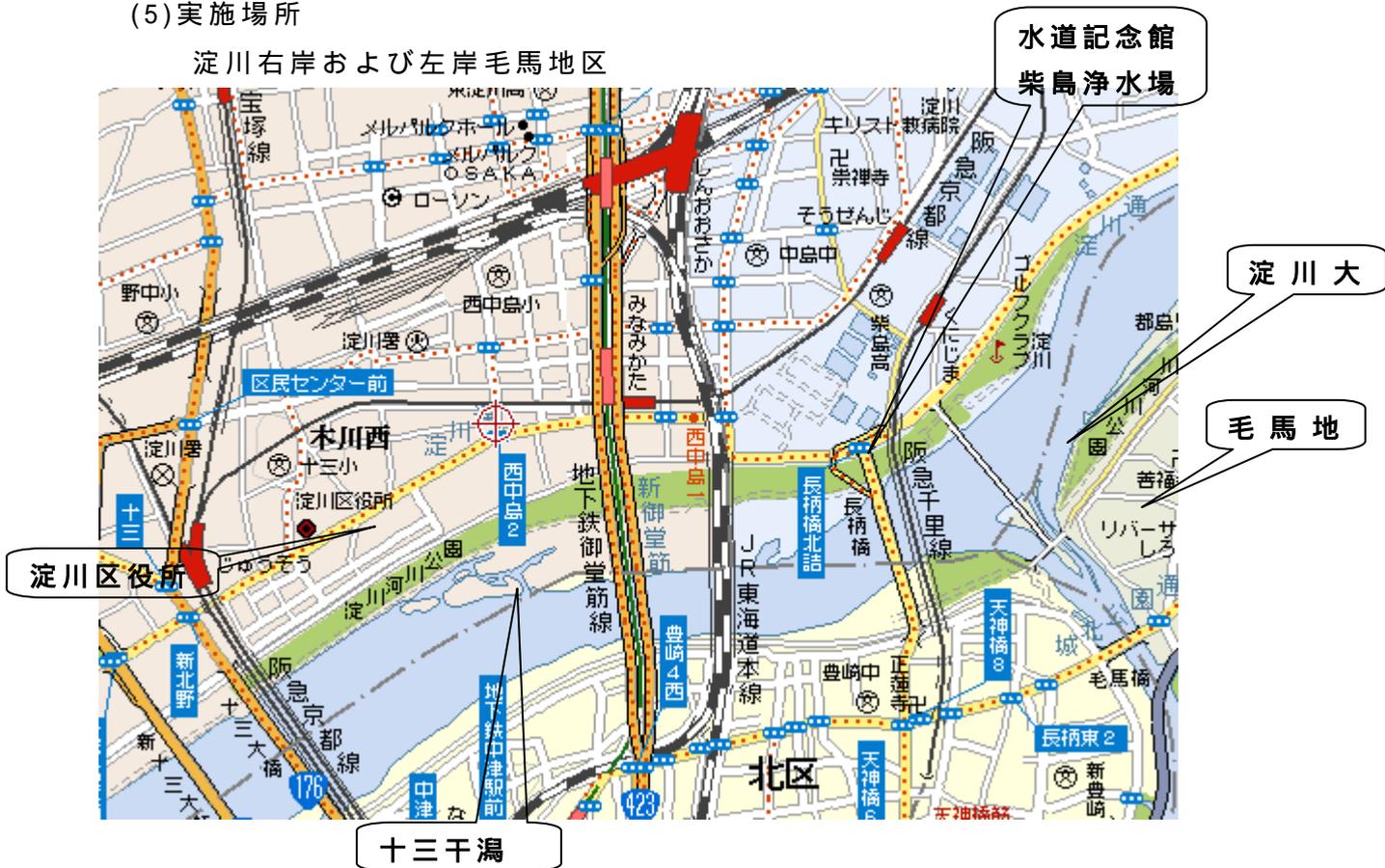
(4)実施日

平日(木曜日)実施予定

11月00日(詳細は打ち合わせ)

(5)実施場所

淀川右岸および左岸毛馬地区



(6) 広報・募集方法

淀川区広報への掲載依頼

地域ミニコミ誌への掲載依頼

地域の団体への参加依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ : 十三福寿会 5名(経路及び施設での見守り)

: 淀川水遊館 2名(")

記録 : 1名

(8) 必要支援内容

河川レンジャー及びセンター事務局

説明配布資料作成

アンケート用紙作成

国土交通省

管理内施設の説明

説明配布資料作成後の印刷

アンケート用紙作成後の印刷

河川レンジャーのぼり

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

関係団体との折衝

協力スタッフの手配・打ち合わせ

広報活動

事業運営

アンケートのまとめ

4. 毛馬出張所管内河川レンジャー 原田 修一

4.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする原田レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

淀川環境を知り、その保全を考える

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川環境保全を図る活動	城北ワンド群での自然観察及びクリーン活動
	淀川河川敷の葦刈り及び葦を用いた工作
	柴島干潟の自然観察

4.2 城北ワンド群での自然観察

(1)活動目的

「城北ワンド周辺での自然観察」は淀川流域にあるいくつかのワンドのうち、もっとも代表的な城北ワンド群(大阪市旭区)において自然観察を行なう活動です。

城北ワンドには淀川固有の生き物を含めたくさんの魚や生き物のすみかとなっていますが、河川環境の変化や外来魚の影響で生態圏に変化が起こっているとされています。私は河川レンジャー活動開始前より定期的に、城北ワンドにて淀川固有の生き物観察と外来魚、外来生物の観察を行う活動を地域の子供たちと観察をしてきました。本年も見識者の方や他の河川保護活動団体と連携をとりながら、参加者に城北ワンドの自然環境を紹介していく事を目的としました。また淀川上流の他の河川レンジャーと連携しクリーン活動も行いたいと思います。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	5 月	外来生物の捕獲 クリーン活動(計画中)	
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

対象：小学生以上

定員：50名程度

理由：小学生が中心である為安全監視要員数(10名)及び一般の方が釣り等の活動を行なっておりトラブルを避ける為50名程度としました。

(3)実施内容

開催日時：年間スケジュール参照

集合場所：城北菅原大橋下淀川河川敷

参加人数：定員50名

スケジュール：

09:30・・・現地集合

09:30・・・主催者の挨拶

09:35・・・講師の先生からお話

09:50・・・グループに別れ活動開始

12:00・・・活動について結果と講師の方の講評

12:15・・・主催者の総括後解散

(4)実施日

開催日時：年間スケジュール参照

(5)実施場所

大阪市旭区淀川河川敷城北wand付近



(6) 広報・募集方法

開催 1 ヶ月前から都島区、城東区、東淀川区小学校、にて参加者募集
河川レンジャーホームページにて案内

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：東都島エコクラブ 10 名(会場までの誘導及び安全確保)

講師：河合典彦氏(予定)(淀川・城北ワンドの自然に関する講演、実演)

内藤肇(予定)(淀川の魚に関する講義、解剖)

高田昌彦(予定)(琵琶湖、淀川の外来魚に関する講演)

(8) 必要支援内容

- ・ 河川敷への車両通行許可手続き
- ・ 淀川(城北ワンド)啓発パンフレット準備
- ・ クリーン活動実施時にはごみの収集

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 集合場所までの参加者の誘導
- ・ 見識者の方の伝達補助
- ・ 参加者の安全確保
- ・ 活動記念の撮影
- ・ 当日の進行
- ・ 物資運搬
- ・ 毛馬出張所との打ち合わせ
- ・ 雨天時の中止連絡方法の確認

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 特に問題はなかったが本年も協力機関等と綿密に打ち合わせを行い安全に開催したい。
- ・ 外来魚、生物観察以外にワンドにいる二枚貝観察も行ないます。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 水辺での活動であるので安全には細心の注意を払う必要がある。
- ・ 城北ワンド周辺は色々な活動拠点となっているので、トラブルが起こらない様注意したい。
- ・ 一般参加者に城北ワンドのすばらしさを知っていただき、継続的に参加していただける様な活動にするため少しずつ内容を豊富にしていきたい。
- ・ クリーン活動は同時に多数のレンジャーで行うのが効果的だと思われるので、日程調整を行いたい。

(12) その他

- ・ 淀川河川敷での活動ですので河川事務所のご協力をお願いします。

4.3 淀川河川敷の葦刈り及び葦を用いた工作

(1)活動目的

淀川河川敷に生育する葦は水質浄化の作用がある事が知られています。しかしその能力を最大限に発揮させる為には、かれた葦を刈りとらなければなりません。

そこで淀川河川敷で葦の生育地として最も有名な鵜殿にて葦狩りを行い、次世代の葦の生育状況を確認し水質保全の意識を高める活動です。又刈った葦を用いたコースター等の工作は、子供たちが興味をもち継続的に参加してくれることを目的とする活動で、継続的に同様の活動を行なっています。

一昨年からは山崎出張所管内の谷岡レンジャーと共催する事により、活動の幅が広がりました。又刈り取った葦を使用し昨年同様都島区の生涯学習発表会で葦工作の紹介を行い、都島区の方に淀川の環境についての資料を配布する活動も行います。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月	鵜殿での葦刈り	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報活動の準備 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動の作成 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	2 月	東都島小学校での工作 都島区生涯学習発表会(都島 区民センター)での活動	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報活動の準備 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動の作成 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	3 月		

(2)参加対象者・定員

対象：小学生以上

定員：葦刈り...30名程度

東都島小での工作...関係者のみ

都島区生涯学習発表会での活動...50名程度

理由：葦刈り...道具、移動手段の関係

東都島小での工作...学校を使用する為学外者の入校が難しい為

都島区生涯学習発表会での活動...工作材料の調達量の関係

(3)実施内容

葦刈り：

参加人数：定員30人

スケジュール：

09:50...淀川河川事務所山崎出張所集合

10:00...主催者の挨拶

10:05...講師の先生から葦についてのお話

10:15...ヨシハラ観察後葦刈り開始

12:00...昼食

13:00...葦刈りの続きと工作材料の選択及び運搬の準備解散

14:45...主催者、講師よりの挨拶

15:00...淀川河川事務所山崎出張所出発

スタッフ打ち合わせ：平成23年1月上旬 東都島小学校多目的室

東都島小での工作

参加人数：関係者のみ

10:00～12:00...東都島小

スタッフ打ち合わせ：2月下旬

都島区生涯学習発表会での活動

参加人数：定員50名

10:00...都島区民センターに集合

10:05...主催者挨拶

10:10...工作開始

14:00...主催者の終わりの挨拶

スタッフ打ち合わせ：2月下旬

(4)実施日

葦刈り

開催日時：平成23年1月中旬

東都島小での工作

開催日時：平成開催日時23年3月上旬

都島区生涯学習発表会での活動

開催日時：平成開催日時23年3月上旬

(5)実施場所

葦刈り：高槻鶴殿ヨシ原(淀川河川事務所山崎出張所周辺)



東都島小での工作：東都島小学校



生涯学習活動発表会での活動：都島区区民センター



(6) 広報・募集方法

- 開催 1ヶ月前から都島区小学校に参加者募集
- 河川レンジャーホームページにて案内
- 都島区広報誌で参加募集

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ：東都島エコクラブ：10名
(会場までの誘導及び葦狩り、工作时における安全確保)
- 講師：小山弘道氏(予定)(高槻鶴殿の自然に関する講演、葦狩り実演)
大倉昌之氏(予定)(葦工作の実演、指導)
- 共催：山崎出張所管内河川レンジャー 谷岡寿和子氏

(8) 必要支援内容

- 葦刈り：淀川河川事務所山崎出張所への連絡・調整、
河川レンジャーのぼり
- 東都島小での工作：特に無し
- 都島区生涯学習発表会での活動：
河川レンジャーのぼり、淀川環境についてのPR
資料準備、袋等

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

葦刈り 東都島小での工作 都島区生涯学習発表会での活動

- ・ 集合場所までの参加者の誘導
- ・ のぼりの設置
- ・ 見識者の方の補助
- ・ 参加者の安全確保
- ・ 活動記念の撮影
- ・ 当日の進行
- ・ 物資運搬
- ・ 雨天時の中止連絡方法の確認

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 鵜殿では葦刈り以外に子供たちが楽しめる行事(凧揚げ等)を講師の方と相談して設定したい。
- ・ 鎌等の刃物及び葦のとげ等怪我の対策を考えたい。
- ・ 葦刈り中心の活動を行ないたい。

(11)活動を行ううえでの課題等

- ・ 河川敷での冬の活動であるので寒さの対策も必要だと思われる。
- ・ 釜を使用するため安全に使用する為の指導が大切である。
- ・ 昨年は刈った葦の高さを競うことで葦の成長具合を実感した。本年も同様の事を実施して葦の状況を計測的に観察したい。

(12)その他

昨年度は参加者の車の駐車に、山崎出張所の駐車場を利用させていただきました。

本年度もご協力をお願いします。

4.4 柴島干潟の自然観察

(1)活動目的

柴島干潟は大阪市内の淀川右岸にあり、クロベンケイガニ等のカニやヤマトシジミ等の貝などの干潟を代表する小さな生き物がたくさん生活しています。また潮の満ち引きを川に入りながら実際に体験することができます。そこで見識者の方や他の河川保護活動団体と連携を進め柴島干潟の観察を行い、淀川のすばらしさと大切さを紹介していく事を目的としています。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月	柴島干潟の自然観察	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
	平成 23 年	1 月	
2 月			
3 月			

(2)参加対象者・定員

対象：小学生以上

定員：50名程度

理由：小学生が中心である為安全監視要員数(10名)及び干潟の面積

(3)実施内容

集合場所：実施場所

参加人数：定員50名

スケジュール(各活動共通)：

09:50...現地集合

10:00...主催者の挨拶

10:05...講師の先生からお話

10:15...グループに別れ活動開始

12:00...活動について結果と講師の方の講評

12:15...主催者の総括後解散

(4)実施日

開催日時：平成22年7月中旬(潮具合により9月実施の場合あり)

(5)実施場所

淀川河川敷柴島干潟



(6)広報・募集方法

開催1ヶ月前から都島区、城東区、東淀川区小学校、にて参加者募集
河川レンジャーホームページにて案内

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：東都島エコクラブ：10名(会場までの誘導及び安全確保)

講師：河合典彦氏(予定)(干潟の生き物に関する講演、実演)

内藤肇(予定)(淀川の魚に関する講義、解剖)

(8)必要支援内容

河川敷への車両通行許可手続き

淀川(城北ワンド)啓発パンフレット準備

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 集合場所までの参加者の誘導
- ・ 見識者の方の伝達補助
- ・ 参加者の安全確保
- ・ 活動記念の撮影
- ・ 当日の進行
- ・ 物資運搬
- ・ 毛馬出張所との打ち合わせ
- ・ 雨天時の中止連絡方法の確認

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 昨年始めて十三干潟から柴島干潟に活動場所を変更して実施しました。活動場所は広く足元を良好で活動の範囲が広がりました。投網を体験するときは干潮時に水際まで移動するので、ライフジャケットの装着は必要だと思います。
- ・ 十三干潟には比べれば空き缶や危険なゴミは少ないが怪我の予防には十分注意を図りたい。

(11)活動を行ううえでの課題等

活動の性格上限られた日時での活動になる為事前の準備をしっかり行ないたい。

(12)その他

本活動は参加者が一番多い活動です。これをきっかけとして他の活動にも参加してもらえるようにしたいと思います。

5. 毛馬出張所管内河川レンジャー 三輪 栄子

5.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする三輪レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を実施します。

活動テーマ

「暮らしの中の河川」を考える活動を通して、歴史、文化を学び、河川についての理解を深め、都市型の暮らしのなかから、川へのかかわりを模索します。

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川にかかわる歴史文化の普及活動	暮らしの中の河川 川沿いあるき・歴史散歩 こどもワークショップ
河川行政と地域住民とのコーディネートを図る活動	毛馬排水機場の見学 防潮扉の学習会
河川の環境保全を図る活動	鳥や、干潟の生き物についての学習会 冬鳥観察会

5.2 暮らしの中の河川 川沿い歩き・歴史散歩

(1)活動目的

身近に川を感じるところから、都市の暮らしと川とのかかわりを考える

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画の立案 広報活動
	5 月	川沿いあるき	協力スタッフとの打ち合わせ 資料の作成
	6 月		
	7 月		
	8 月		計画立案 準備作業 打ち合わせ 講師依頼
	9 月		下見
	10 月	川沿いあるき	
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

対象：どなたでも参加可

定員：20名から30名

(3)実施内容

川象歩き・歴史散歩

淀川の中流域、上流域への関心を高めるための
史跡、施設見学を兼ねた川沿い散歩

(4)実施日

5月と10月 二回開催 日程は未定

(5)実施場所

未定

(6)広報・募集方法

地域一般チラシ
レンジャーHP

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：3～4名
広報協力、活動日の引率、安全確認

(8)必要支援内容

施設の利用
のぼり借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師依頼
- ・協力スタッフの手配、打ち合わせ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・下見
- ・当日の運営
- ・結果のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 広報の有効な配架
- ・ スタッフの確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

参加年齢により活動時間の調整

天候・気温などにより臨機応変にプラン変更可能な計画立案

(12) その他

5.3 こどもワークショップ

(1)活動目的

住んでいる街と川について考える活動、
河川と生き物に関する普及と意識調査

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画の立案
	5 月		広報活動 協力スタッフとの打ち合わせ 展示資料の作成
	6 月	こどもワークショップ	アンケートの準備
	7 月		まとめ
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		

(2)参加対象者・定員

対象：小学生、地域住民

定員：200名

(3)実施内容

地域こどもイベントの中で、体験コーナーとして実施。

身近な河川について、干潟の生き物について、考えるコーナーを企画中。

(4)実施日

6月未定

(5)実施場所

小学校講堂

(6)広報・募集方法

地域イベントの共催チラシ

一般チラシ

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：5～6名

広報協力、ワークショップでの活動、活動日の誘導、整理、安全確認

(8)必要支援内容

施設の利用

主催団体との役割分担

準備物置き場の借用

のぼり借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協力スタッフの手依頼、打ち合わせ
- ・会場の手配
- ・ワークショップ準備物作成
- ・展示資料作成
- ・広報活動
- ・当日の運営
- ・結果のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 広報の有効な配架
- ・ スタッフの確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

5.4 毛馬排水機場の見学・防潮扉の学習会

(1)活動目的

施設見学や、学習会を通して、私たちの暮らしに河川はどのようにかかわっているのかを考える。河川行政への理解を深める。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		計画立案 準備作業 打ち合わせ 資料の作成
	9 月	防潮扉の学習会	
	10 月		
	11 月		
	12 月		計画立案 準備作業 打ち合わせ 下見
平成 23 年	1 月		広報活動 協力スタッフとの打ち合わせ 資料の作成
	2 月	施設見学会	
	3 月		

(2)参加対象者・定員

対象：どなたでも参加可

定員：20～30名

(3)実施内容

毛馬排水機場,防潮扉の学習会、施設見学

(4)実施日

9月、2月開催 日程は未定

(5)実施場所

未定

(6)広報・募集方法

地域一般チラシ
レンジャーHP

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：3～4名
広報協力、活動日の引率、安全確認

(8)必要支援内容

講師依頼
施設の利用
解説施設利用
のぼり借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師依頼
- ・協力スタッフの手配、打ち合わせ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・下見
- ・当日の運営
- ・結果のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 広報の有効な配架
- ・ スタッフの確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

5.5 鳥や、干潟の生き物についての学習会・冬鳥観察会

(1) 活動目的

学習会・観察会を通し、生き物たちの環境について考える。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		広報活動 協力スタッフとの打ち合わせ 資料の作成
	12 月	冬鳥観察会	計画立案 準備作業 打ち合わせ 下見
平成 23 年	1 月	冬鳥観察会	
	2 月		
	3 月		

(2) 参加対象者・定員

対象： どなたでも参加可

定員： 学習会、観察会ともに 20 名

(3)実施内容

干潟の生き物、鳥についての学習会

(4)実施日

12、1月開催 日程は未定

(5)実施場所

未定

(6)広報・募集方法

地域一般チラシ
レンジャーHP

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：3～4名
広報協力、活動日の引率、安全確認

(8)必要支援内容

講師依頼
施設の利用
解説施設利用
のぼり借用

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師依頼
- ・協力スタッフの手配、打ち合わせ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・下見
- ・当日の運営
- ・結果のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 広報の有効な配架
- ・ スタッフの確保

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

6. 毛馬出張所管内河川レンジャー 山本 善稔

6.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする山本レンジャーは以下の活動テーマにもと、6つの活動を実施します。

活動テーマ

淀川と大川の分流地区の歴史と文化

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川に係る歴史の文化	淀川100周年にあたって～淀川と大川の歴史と文化探訪

6.2 淀川 100 周年にあたって～淀川と大川の歴史と文化探訪

(1)活動目的

新淀川開削 100 周年にあたり主に毛馬地区とその付近の歴史のウォーキングガイドを行い、流域住民の方々をはじめ、多くの方々に淀川に係る歴史の文化を知ってもらい、河川にもっと関心をもってもらうことを期待できる活動をしたい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		・実施計画の立案 ・広報準備
	5 月		・広報活動(最終回まで継続)
	6 月	19 日(土)第 1 回	
	7 月	17 日(土)第 2 回	
	8 月	21 日(土)第 3 回	
	9 月	18 日(土)第 4 回	
	10 月	16 日(土)第 5 回	
	11 月	20 日(土)第 6 回	
	12 月		・アンケート結果のまとめ
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象：一般の方々(保護者付小学生含む)
- ・定員：各 1 回 50 名まで

(3)実施内容

(ア) ウォーキングのガイド

- ・説明資料配布
- ・質疑応答
- ・アンケート用紙記入(感想など)

(イ) 行程

13:00 開始 河川レンジャー挨拶・注意事項など

13:10 ウォーキングガイド

途中休憩あり

質疑応答

15:50 アンケート記入

16:00 解散

(4)実施日

第1回目 6月19日(土)

第2回目 7月17日(土)

第3回目 8月21日(土)

第4回目 9月18日(土)

第5回目 10月16日(土)

第6回目 11月20日(土)

各回 13:00～16:00

(5)実施場所

市バス毛馬橋～毛馬地区～市バス長柄南詰

(バス停からバス停まで交通のよい場所を予定)



(6) 広報・募集方法

- ・ 区役所や国土交通省関係の窓口でチラシ設置や案内の掲示
- ・ 毛馬地区の学校や教育機関へのチラシの送付
- ・ ホームページ掲載

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ 協力スタッフ： NPO 法人よどがわ・水研究会の会員
- ・ 人数： 2 名
- ・ 役割： ウォーキング誘導員(ガイドサポート)

(8) 必要支援内容

- ・ 水道記念館・・・会場借用
- ・ 河川レンジャー事務局・・・河川レンジャーのぼりの借用
各機関への案内郵送代

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 説明・資料の作成
- ・ コースのガイド

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年「淀川の水環境を考えましょう」のテーマで5回の講座を行ったが、テーマの内容が住民に馴染まなかったのか、広報が不十分であったのか、受講者が思ったより少なかった。この反省から、関心と興味を持ってもらえるように一般的テーマを選んだ。

他、広報の範囲を広げる、参加者の対象を広げるなどの改善を行う。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 住民が関心をもってくれる広報の方法を検討する。
- ・ いろいろな NPO 法人や活動団体を通しての広報(チラシ配布や HP リンク)の依頼と相互協力をお願いする。
- ・ 広報に経費をかけてはどうか?
- ・ 開催場所の最寄り駅への協力をお願いしてはどうか?
- ・ 最寄り駅における開催時刻までの案内スタッフの設置をしてはどうか?

(12) その他

なし。

7. 毛馬出張所管内河川レンジャー 崎谷 久義

7.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする崎谷久義レンジャーは以下の活動テーマのもと、5つの活動分野で12回の活動を実施します。

活動テーマ

市民と川の豊かなふれあいを増す活動!

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
川の歴史・文化を普及啓発する活動	<p><大阪市立住い情報センター タイアップ企画> 1 『親しみのある川に!』淀川、超、超入門講座 「川とともに」 ・川の歴史は大阪の歴史・暮らしを支える川 ・都市河川に残る数多くの自然・川の風景 -----やすらぎの川辺空間 講座形式でおこなう事業 フィールドに出でおこなう事業</p> <p><大阪市立東淀川図書館 タイアップ企画> 2 淀川親子入門講座『川に親しむ』 「淀川と暮らしの歴史」 講座形式でおこなう事業 「川で遊ぶ体験学習」 フィールドに出でおこなう事業</p>
啓発活動	河川レンジャー情報発信などの広報活動 (北区民カーニバル・東淀川区民まつり)
川づくり・人づくりへの参画・支援する活動	地域住民と大学の、川のスポーツによる交流を支援 (東淀川区民・神大漕艇部)
川の環境保全を図る活動	河川美化活動 (淀川河川ごみ拾いグループFUROSHIKIと 地域団体のコラボレーションでこころのゴミ拾い !)

7.2 『親しみのある川に!』淀川、超、超入門講座

(1)活動目的

私たちの生活と淀川との深いかかわりを理解してもらえよう。日本の気候風土など自然的特性と大阪の地形的特質を知る面から。----古代より現在までの川の変遷や、氾濫史、治水・利水のこと、川と人とのつながりなど生活文化の歴史的流れを追いながら、さらに水防や自然環境の大切さなどを考えてみる。

またセミナーに先立ちパネル展示会を開催し、予備知識の高揚を図る。

当講座は大阪市立住い情報センターとのタイアップ企画として開催し、広く大阪市民に対し河川の啓発を目的としておこなう。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 タイアップ事業先(住まい情報センター)確認調整 ・ 実施事業計画の立案 ・ 資料づくり準備 ・ 1 講師依頼 ・ 協力スタッフの手配 ・ 講師、協力スタッフとの打合せ ・ 広報準備、活動
	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 資料作成 ・ 2 タイアップ事業先(東淀川図書館)確認調整 ・ 実施事業計画の立案 ・ 資料づくり準備 ・ 2 講師依頼 ・ 協力スタッフの手配 ・ 講師、協力スタッフとの打合せ ・ 広報準備、活動
	7 月		
	8 月	<p>《大阪市立住い情報センター・タイアップ事業》企画 1『親しみのある川に!』淀川、超、超入門講座 :住まい情報センター展示コーナーでパネル展示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 見学フィールド(施設)事前確認 ・ 1 パネル展示設営(8/20)
	9 月	<p>「川とともに」 1 (研修室で2時間半ほど) 1 (フィールドに出て3時間半ほど) 赤川人道橋から漕艇やワンドを眺めながら堤を散策し淀川大堰を横目に通過。長柄橋を渡り、柴島干潟や対岸の街の情景を体感。水道記念館で散会。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 セミナー(9/12) ・ 1 アンケート結果のまとめ ・ 1 川堤歩き(9/19) ・ 1 パネル展示撤収(9/19) ・ 1 アンケート結果のまとめ
	10 月	<p>《大阪市図書館フェスティバル》 タイアップ企画 :東淀川図書館展示ケースで資料展示 2『川に親しむ!』親子入門講座 2 「淀川と暮らしの歴史」 (研修室で2時間ほど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 見学フィールド(施設)事前確認 ・ 2 展示物設営(10/21) ・ 2 セミナー(10/24) ・ 2 アンケート結果のまとめ

	11月	2 「川で遊ぶ体験学習」 (フィールドに出て 3 時間半ほど) 柴島干潟で自然観察、魚やシジミ獲り。浄水所・淡水魚飼育研究棟を見学。	・ 2 川辺の体験(11/4) ・ 2 現地パネル展示設営、撤収 ・ 2 展示物撤収(11/17) ・ 2 アンケート結果のまとめ
	12月		
平成 23 年	1月		
	2月		
	3月		

(2)参加対象者・定員

1 の目標とするターゲットは、大阪市内在住及び勤務者 一般 とします。

講座型の事業は大人対象で、参加目標 50 人(研修室収容定員。56 名)
施設見学とフィールド散策型の事業は、講座参加者を主たる対象とし、
その家族・子どもを含む。参加目標 = 35 人

(3)実施内容

大阪市立住まい情報センターとタイアップ講座開催(課題テーマ 居住地魅力の発信)

1 『親しみのある川に!』淀川、超、超入門講座(居住地魅力の発信)

「川とともに」市民に開かれた親しみのある川づくり

1- <研修室で 2 時間半ほど>

- ・ 川の歴史は、大阪の歴史
- ・ 暮らしを支える川
- ・ 都市河川に残る数多くの自然
- ・ 川の風景、やすらぎの川辺空間

(生活の中での危機管理意識地形の理解や、河川交通、洪水の歴史など川と人とのかわりを学ぶ。かけがえのない水と私たちの暮らし・川の生物と水質・魅力のある川づくりについて学び考えてもらう。)

-2(フィールドに出て体験研修 3 時間半ほど)

川の自然に親しむ----。赤川人道橋を渡りながら神大漕艇部練習やワンド風景を眺める。取水(尼崎)・浄水場(柴島)・淡水(毛馬大堰上流)・汽水域(毛馬大堰下流) ワンド(城北)・干潟(柴島)のこと、

また動植物や外来種問題など話題にしながら堤を散策。柴島干潟で自然観察や対岸の都市風景との対比を体感の後、淡水魚飼育研究棟と水道記念館を見学し施設員のレクチャーを受ける。

(一般市民や子どもたちの目線から見た、河川環境への想いや疑問を理解・認識していただくための超・超入門講座とします。)

(4)実施日

1 『親しみのある川に!』淀川、超、超入門講座

- <研修室で> 22年 9月12日(予定)
- (フィールドに出て) 22年 9月19日(予定)

2 『川に親しむ!』親子入門講座

- <研修室で> 22年10月24日(予定)
- (フィールドに出て) 22年11月3日(予定)

(5)実施場所

1- 講座 「大阪市立住まい情報センター」研修室

同時開催 パネル展示 は、「大阪市立住まい情報センター」ロビー



- 1- フィールド 赤川人道橋右岸(尼崎市取水場辺り)から橋を渡り左岸へ。河川敷を散策しながら、毛馬排水機場を抜けて長柄橋を通り、柴島干潟～柴島浄水場・水道記念館へと川辺歩き。



- 2- 講座 「大阪市立東淀川図書館」研修室
同時開催 資料展示 は、「図書館」ロビー及び閲覧室



- 2- フィールド 体験学習は、柴島干潟で自然観察、魚やカニ、シジミの採取。柴島水道記念館、淡水魚飼育研究棟へ。



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページ。

河川レンジャーNews、広報チラシ。(関連施設・区役所等に配備。)

それに加えて、大阪市住まい情報センター・東淀川図書館制作のチラシと市や区の広報紙、ホームページなどで広報伝達。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

1- 講座

レンジャー補助講師： 裕永正光さん(淀川資料館勤務)

[パネル展]設営・撤去の手助け。 講座開講時の設営・受付業務。
写真記録。

1- 川辺歩き

レンジャー補助講師： 河合典彦さん

(淀川環境委員会 水域環境部長)

毛馬施設見学とレクチャー： 毛馬出張所職員

会場の設営・受付業務・安全管理スタッフ

2- 講座

レンジャー補助講師： 河合典彦さん

(淀川環境委員会 水域環境部長)

[パネル展]設営・撤去の手助け。 講座開講時の設営・受付業務。

2- 干潟体験学習と施設見学

レンジャー補助講師： 大阪府環境農林水産総合研究所

(水生生物センター職員)

水道記念館・淡水魚飼育研究棟施設見学とレクチャー： 施設職員
開催現場の設営・受付業務・安全管理スタッフ。

[パネル展]設営・撤去の手助け。講座開講時の設営・受付業務。
写真記録。

(8) 必要支援内容

講師の依頼。

[講座]開催時のパワーポイント作成及び配布資料作成のための援助。
同時開催予定の[パネル展]展示物作成及び借り受けの協力。

淀川を使い練習する、神戸大学漕艇部や、いつも河川敷で凧揚げするグループにも

情景演出の協力依頼。

ホームページ掲載とチラシ作成。

見学施設申込みとレクチャーの依頼手配。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

活動推進の開催場所を考慮検討し、この度は大阪市立住まい情報センター及び東淀川図書館とのタイアップ事業に挑戦してみることにした。

内容は研修室でのセミナー開催と、その参加者を中心とする人達とフィールドに出たの川辺散策や、施設見学を実施する。

セミナー開催に先立ち、会場の展示コーナーを活用したパネル展を催す。

(開催期間はセミナー開催日をはさむ概ね1ヶ月間)

川歩き開催時にも会場の一角にパネル掲示をおこなう。河川敷や川を活用する人たちの賑わいの演出も考慮したい。(漕艇や凧揚げゴミ拾い活動など-----)

- ・ 実施計画の立案。
- ・ 講師の依頼・協力スタッフの手配と事前打合せ。
- ・ 関係機関との調整。
- ・ 掲示パネルの作成及び資料収集。
- ・ 講座資料の作成・パワーポイントの作成・アンケートの作成。
- ・ 広報活動。
- ・ 開催当日の運営。
- ・ アンケートの集約。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

新米河川レンジャーが事業準備を進めながら、自身が教えられる立場に到達するように考え、活動テーマを『淀川、超、超入門講座』とした。

未熟な目線から、パワーポイントやパネル展示用資料の作成をおこない、私自身も一步一步学んで深みを体感習得して行けるような企画を立ててみようと思う。

古地理を調べたり、その変遷を追う。また洪水が起こりやすい日本の自然的特性を理解し、水害の記録などの資料を収集、自然環境や動植物の実情データ、etc. など知識と情報を得るための助言と環境の提供を得たい。

(12) その他

7.3 啓発活動

(1) 活動目的

河川レンジャー広報活動

淀川の自然や水の恵みについて、広く市民にアピールし「親しめる川づくり」の芽生えを醸成する。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施事業計画の立案 ・ 資料づくり準備 ・ 東淀川区民まつり実行委員会 / 北区コミュニティー協会や 地域団体など確認調整
	7 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力スタッフの手配 ・ 協力スタッフとの打合せ ・ 広報準備、活動 ・ 資料作成
	8 月		
	9 月	第 36 回・東淀川区民まつり 特設テントに於いて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル展示設営、撤収 ・ アンケート結果のまとめ
	10 月	北区区民カーニバル 2010 特設テントに於いて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル展示設営、撤収 ・ アンケート結果のまとめ
	11 月		
	12 月		
	平成 23 年	1 月	
2 月			
3 月			

(2)参加対象者・定員

目標ターゲットは、東淀川区・北区の区民及び近隣地区に勤務する一般市民親子とします。参加目標 = 600 余人

(3)実施内容

大阪各区の恒例行事となっている秋期の区民祭に、行政のサービス事業や保安・福祉厚生活動また文化活動などを区内で推進している各種団体の案内ブース(テント)が設置されます。そこで、河川に親しむ啓発の広報活動を河川レンジャーも参画実施することを企画。

川の自然や、河川敷を活用した憩い空間の提案など、川に親しみを深めてもらうための資料展示や催し案内などの広報をおこなう。(6 時間ほど)

(4)実施日

大阪市東淀川区 区民まつり 22 年 9 月下旬日曜予定(13 時 ~ 16 時 10 分)

大阪市北区 区民カーニバル 22 年 10 月中旬の日曜予定(9 時半 ~ 16 時)

(5)実施場所

大阪市東淀川区 区役所前「こぶし通り」とその周辺広場



大阪市北区----- 扇町公園グラウンド



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページ。

河川レンジャーNews、広報チラシ。各区役所広報紙及びホームページ。

(関連施設配布)。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

[掲示パネル] 設営・撤去の手助け：

開催時の受付及び対応・写真記録業務。:

(8) 必要支援内容

各区役所窓口への依頼申請と活動の支援。

「掲示パネル」作成及び借り受けの協力。

ホームページ掲載とチラシ作成。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案。
- ・ 各区役所及び関係団体、調整。
- ・ 協力スタッフの手配と事前打合せ。
- ・ 掲示物及び資料の作成。
- ・ 現地や此れまでの実施内容調査と当日の運営。
- ・ 広報活動。アンケートの集約。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

活動地区住民及び各種団体の情報収集、実情把握。

(12) その他

7.4川づくり・人づくりへの参画・支援する活動

(1)活動目的

地域住民と大学の、川のスポーツによる交流支援を図る活動事業。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		<ul style="list-style-type: none"> ・(東淀川区民 + 神大漕艇部) 確認調整準備 ・実施事業計画の下地立案
	5 月		<ul style="list-style-type: none"> ・資料づくり ・地域団体など確認調整準備 ・広報体制づくり、活動 ・協力スタッフ獲得活動
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月	[H23 年度実現の下地づくり] 地域住民と大学の、川のスポーツによる交流を支援 (東淀川区民 + 神大漕艇部) ・河川敷会場パネル展示	
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> ・(東淀川区民 + 神大漕艇部) 確認調整 ・実施事業計画の立案 ・資料づくり ・地域団体など確認調整 ・広報体制づくり、活動 ・協力スタッフ獲得活動
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

目標ターゲットは、東淀川区民の特に赤川人道橋や淀川河川堤近くにお住まいの地域市民親子その他一般市民とします。

参加目標 = 100 余人

(3)実施内容

長年の間、淀川河川をフィールドとしてスポーツ活動を行なっている「神戸大学漕艇部」と、それを横目で見ながら近寄り難かった住民の交流を図り、水辺を媒介とした市民交遊を実現。河川スポーツに親しむ啓発事業を実施。

東淀川区役所からも広報のタイアップを図り活動を促進させる。

模擬ボート競技の見学や、ボートの乗船体験で親交を深める。

(3 時間半ほど)

(4)実施日

平成 23 年 9 月中旬頃の実施にむけた、準備活動。

(5)実施場所

赤川人道橋周辺「神大漕艇部寮」及び淀川河畔



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページ。

河川レンジャーNews、広報チラシ。東淀川区役所広報紙及びホームページ。

(関連施設配布)

神大漕艇部寮ホームページ。

地域自治会、小中学校に呼びかけ。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

講師：神大漕艇部メンバー

協力：東淀川区役所関連部局職員

[掲示パネル] 設営・撤去の手助け

開催時の受付・写真記録業務

(8) 必要支援内容

神大漕艇部講師の依頼申請と事業活動の支援。

「掲示パネル」作成及び借り受けの協力。

ホームページ掲載とチラシ作成。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案。
- ・東淀川区役所及び神大漕艇部、調整。
- ・講師の依頼・協力スタッフの手配と事前打合せ。
- ・掲示物及び資料の作成。
- ・東淀川区役所及び地域小学校・自治会など関係者に呼びかけ。
- ・現地調査と当日の運営。
- ・広報活動。アンケートの集約。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(今回は新規レンジャーの、初企画です。)

(11) 活動を行ううえでの課題等

活動地域の小中学校・地区住民の情報収集、実情把握。

(12) その他

7.5 河川美化活動

淀川河川ごみ拾いグループFUROSHIKI と 地域団体のコラボレーションで
こころのゴミ拾い!

(1) 活動目的

川の環境保全の推進を図る活動。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施事業計画の立案 ・ 資料づくり準備 ・ タイアップ事業先 (FUROSHIKI/地域団体)確認 調整 ・ 講師依頼 ・ 協力スタッフの手配
	9 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師、協力スタッフと打合 せ ・ 広報準備、活動 ・ 資料作成
	10 月		
	11 月		
	12 月	長柄橋付近清掃活動 (FUROSHIKI グループ + 地域住 民タイアップ…こころのゴ ミ掃除!)	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル展示設営、撤収 ・ アンケート結果のまとめ
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

目標とするターゲットは、淀川河川ごみ拾いグループ FUROSHIKI と河川敷を活用する地域団体及び一般市民 とします。参加目標 = 50 人

(3)実施内容

FUROSIKI とタイアップした、こころのゴミ掃除！ 活動。テーマ型イベントとして当日の休憩時間には河川レンジャー事業の広報事業(河川の防災啓発や自然環境の保全についてなど)を催す。(河川敷で 3 時間ほど)

(4)実施日

平成 22 年 12 月中旬

(5)実施場所

長柄橋周辺



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページ。
河川レンジャーNews、広報チラシ。(関連施設・区役所等に配備)
FUROSIKI ホームページ。
地域団体に呼びかけ。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

講師：岡 秀郎さん(大阪自然環境保全協会事務局長)
[掲示パネル] 設営・撤去の手助け
開催時の受付・写真記録業務。

(8) 必要支援内容

講師依頼と[講座]開催の援助。
「掲示パネル」作成及び借り受けの協力。
ホームページ掲載とチラシ作成。
収集用ゴミ袋と予備手袋の用意。
ゴミ引取依頼手配。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案。
- ・実施地の決定。
- ・FUROSIKI 及び地区団体など関係者呼びかけ、調整。
- ・講師の依頼・協力スタッフの手配と事前打合せ。
- ・掲示物及び資料の作成。
- ・現地調査と当日の運営。
- ・広報活動。アンケートの集約。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(今回は新規レンジャーの、初企画です。)

(11) 活動を行ううえでの課題等

活動地域の河川敷利用者及び地区団体の実情調査・情報収集。

(12) その他

7.6 防災の推進を図る活動

(1) 活動目的

地域水防具倉庫を活用した、自主防災活動の活性化を図る活動。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施事業計画の立案 ・ 資料づくり準備 ・ 地域団体など確認調整 ・ 講師依頼 ・ 協力スタッフの手配
	11 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師、協力スタッフとの打合せ ・ 広報準備、活動 ・ 資料作成
	12 月		
平成 23 年	1 月	豊崎水防具倉庫を活用した水防勉強会(土嚢づくり体験も)	・ パネル展示設営、撤収
	2 月		・ アンケート結果のまとめ
	3 月		

(2)参加対象者・定員

目標ターゲットは、長柄豊崎地区の淀川河川堤を近くとする地域住民の団体及び一般市民とします。参加目標 = 30 余人

(3)実施内容

北区の「豊崎水防具庫」を活用した水防啓発事業として、長柄橋近郊地区を中心とする地域河川の防災や環境の保全など危機意識の高揚を図る活動を実施。

「豊崎水防具庫」で(2時間半ほど)

(4)実施日

平成 23 年 1 月中旬

(5)実施場所

長柄橋周辺～豊崎水防具庫



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページ。
河川レンジャーNews、広報チラシ。(関連施設・区役所等に配備。)
及び地域団体や自治会に呼びかけ。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

講師：松永正光さん(淀川資料館勤務)・水防組合員
[掲示パネル]設営・撤去の手助け
開催時の受付・写真記録業務

(8) 必要支援内容

水防組合及び講師の依頼申請と事業活動の支援。
「掲示パネル」作成及び借り受けの協力。
ホームページ掲載とチラシ作成。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案。
- ・水防組合に打診、調整。
- ・講師の依頼・協力スタッフの手配と事前打合せ。
- ・掲示物及び資料の作成。
- ・地区団体及び地域自治会など関係者に呼びかけ。
- ・現地調査と当日の運営。
- ・広報活動。アンケートの集約。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(今回は新規レンジャーの、初企画です。)

(11) 活動を行ううえでの課題等

活動地区住民及び地域団体の情報収集、実情把握。

(12) その他